

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23

問1.

【ビューポート】

以下の説明が正しいければ○を、誤っていれば×を選択してください。

シートレイヤに配置した複数のビューポートは、異なった縮尺に設定することができない。

 ○ ×

次の設問

後で見直す

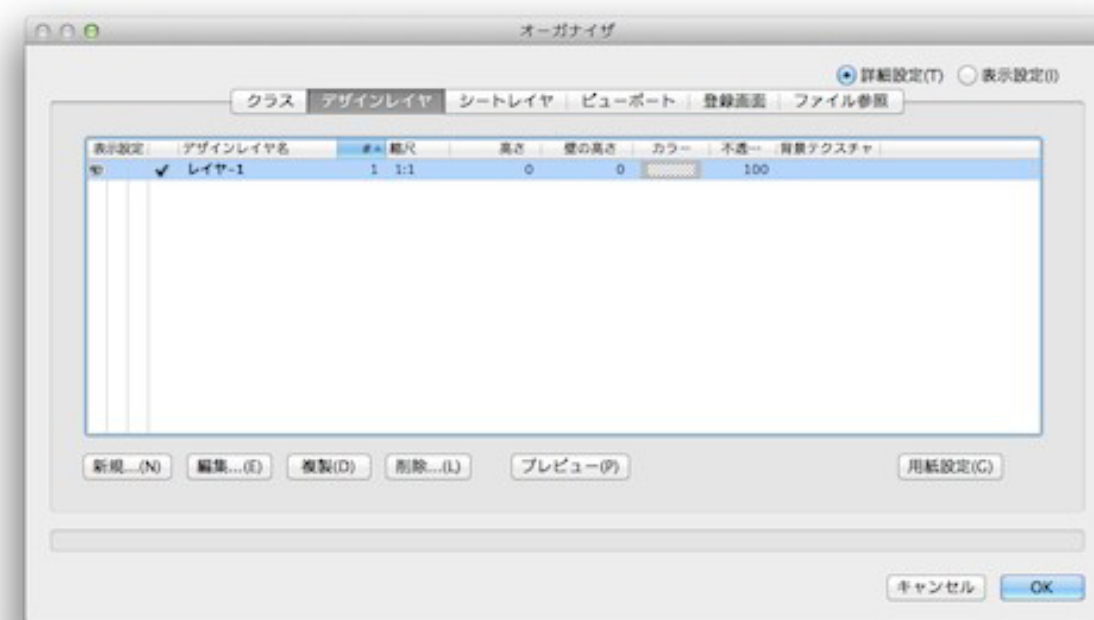
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23

問2.

【デザインレイヤ設定】

以下の説明が正しいければ○を、誤っていれば×を選択してください。

Vectorworksの「デザインレイヤ」は、縮尺だけでなくレイヤ毎に用紙の大きさも設定できる。

 ○ ×

次の設問

後で見直す

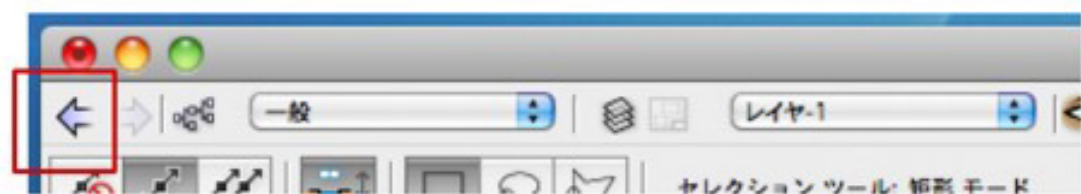
- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12
- 13
- 14
- 15
- 16
- 17
- 18
- 19
- 20
- 21
- 22
- 23

問3.

【表示バー】

以下の説明が正しいければ○を、誤っていれば×を選択してください。

表示バーの左側にある矢印は、図面領域をパン、ズーム、またはスクロールして作成した、一つ前のビューを表示することができる。



-
- ×

次の設問 後で見直す

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12
- 13
- 14
- 15
- 16
- 17
- 18
- 19
- 20
- 21
- 22
- 23

問4.

【用紙と縮尺設定】

以下の説明が正しいければ○を、誤っていれば×を選択してください。

用紙のサイズや縮尺は、作図前に行う設定で途中で変更することは出来ない。

-
- ×

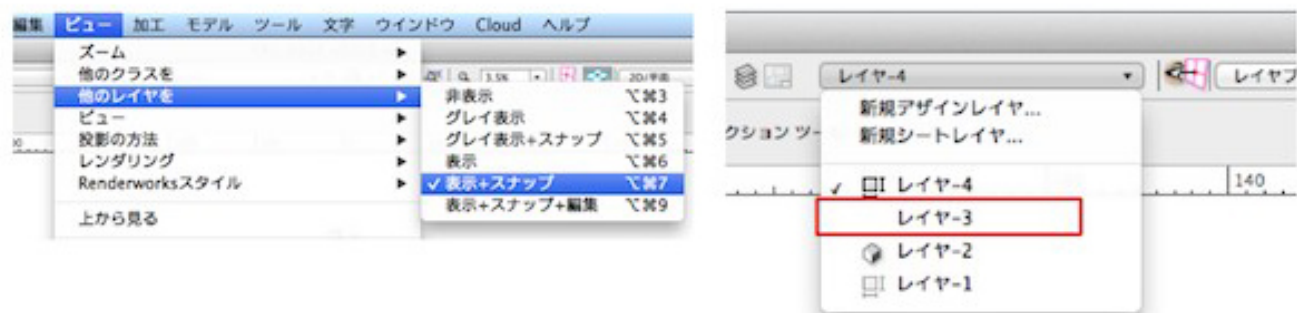
次の設問 後で見直す

問5.

【表示バー】

以下の説明が正しいければ○を、誤っていれば×を選択してください。

他のレイヤが『表示+スナップ』である場合、「レイヤ-3」に作成された図形は表示される。
※すべてのレイヤの縮尺は同じであり、すべてのレイヤに図形が作図されているものとする。



○

×

次の設問

後で見直す

問6.

【フォントの変更】

配置済みの文字列のフォントやサイズなどを変更するパレットを選択してください。

- データパレット
- ビジュアルパレット
- 属性パレット

次の設問

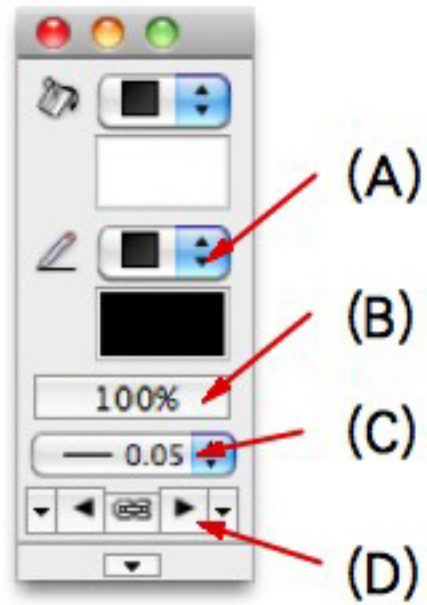
後で見直す

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23

問7.

【属性パレット】

属性パレットについての説明です。誤った説明を選択してください。



- (A)では、線にも模様を選択することができる
- (B)では、用紙を原寸表示することができる
- (C)では、線の太さを選択できる
- (D)では、直線の終点にマーカーをつける事ができる

次の設問

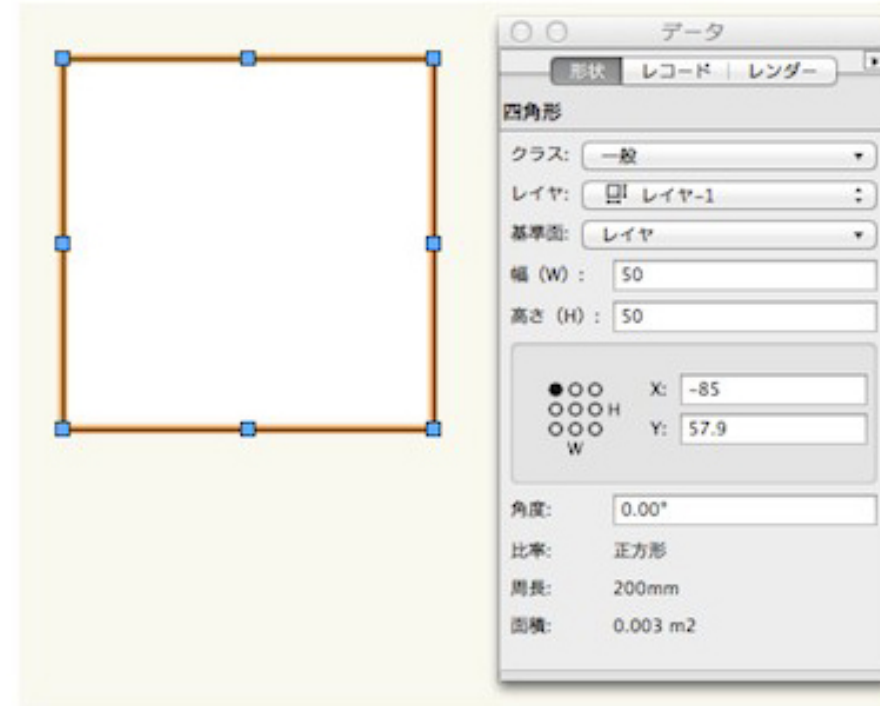
後で見直す

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23

問8.

【データパレット】

選択している四角形をデータパレットで編集する場合、変更できない説明を選択してください。



- 面の色を「赤」に変更する
- 幅を「100」に変更する
- 「45°」回転する
- 高さを「10」に変更する

次の設問

後で見直す

問9.

【属性の設定】

図形にリソース属性を設定する方法として、属性パレットとリソースマネージャ(リソースブラウザ)から設定する方法があります。以下の中でリソースマネージャ(ブラウザ)では設定できない属性を選択してください。



- ハッチング
- 模様
- タイル
- グラデーション

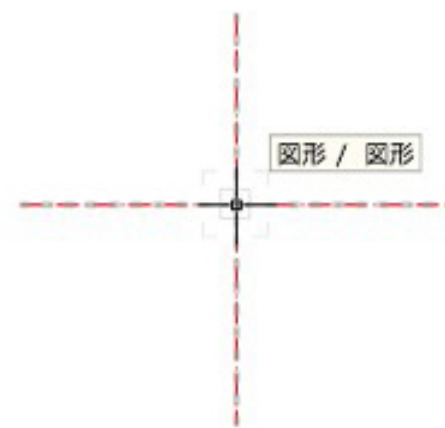
次の設問

後で見直す

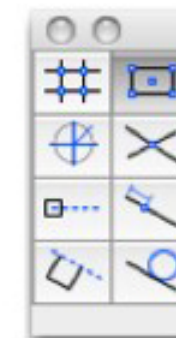
問10.

【スナップパレット】

以下図形のように「図形/図形」とスクリーンセントを表示するスナップを選択してください。



(図1)



(図2)

- (図1)
- (図2)
- (図3)
- (図4)

次の設問

後で見直す



(図3)



(図4)

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12
- 13
- 14
- 15
- 16
- 17
- 18
- 19
- 20
- 21
- 22
- 23

問1.

【インストール】

Vectorworksをインストールすると、複数のフォルダが設定されます。
あらかじめ用意されているテンプレートファイルやシンボルデータなどが**収録されているフォルダ名**を選択してください。

- Settings
- Libraries
- Plug-ins
- workspaces

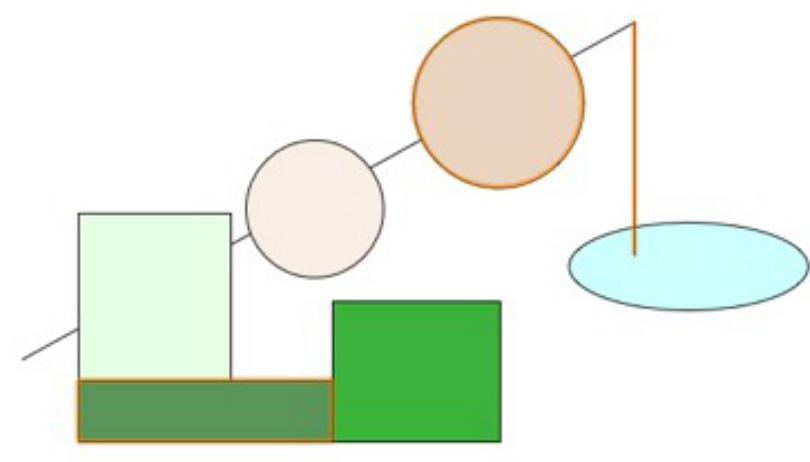
次の設問 後で見直す

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12
- 13
- 14
- 15
- 16
- 17
- 18
- 19
- 20
- 21
- 22
- 23

問2.

【基本ツール】

以下の説明文の()に入る**適切なキー**を選択してください。
作図している図形を選択する場合は、セクションツールでマウスドラッグしながら図形を囲むと囲まれた図形だけが複数選択されます。
離れた図形を選択する場合は、()キーを押しながらセクションツールで一つずつクリックします。
また、同様のキーを押しながら図形の上でクリックすると選択から解除されます。



- control
- tab
- shift
- (Win)Alt/(Mac)option

次の設問 後で見直す

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

問13.

【2D加工】

以下の説明が正しいければ○を、誤っていれば×を選択してください。

グループとは、複数の図形やテキストなどをひとかたまりの図形として利用できるコマンドである。



○

×

次の設問

後で見直す

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

問14.

【2D編集】

以下の説明が正しいければ○を、誤っていれば×を選択してください。

破線を設定するには、属性パレットやリソースマネージャ(リソースブラウザ)から行う。

○

×

次の設問

後で見直す



1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

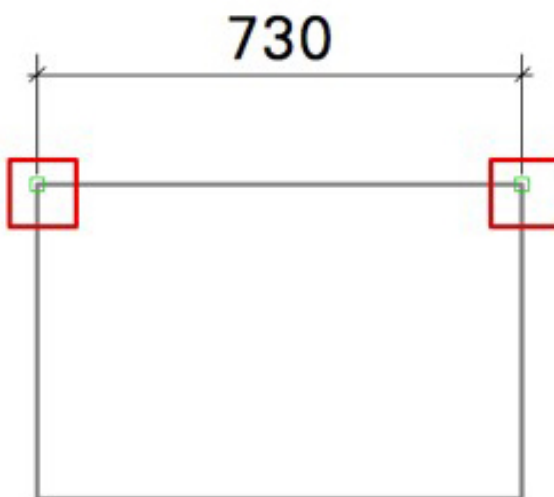
23

問15.

【2D作図】

以下の説明が正しいければ○を、誤っていれば×を選択してください。

図形の左上と右上をクリックして寸法を作図すると赤枠内のように緑色の□が表示されます。これは、図形と寸法が連動する寸法拘束で、図形のサイズが変更されると寸法も追従されます。この寸法拘束は解除することができます。

 ○ ×

次の設問

後で見直す

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

問16.

【2D編集】

以下の説明は、2D図形を編集する場合の手順です。誤っている説明を選択してください。

- セレクションツールで図形の縦横比を保持したままリサイズするには、Controlキーを押しながらアクティブポイントをドラッグした
- 作図している図形を誤って削除、移動、リサイズをしないようにするため、「加工」メニュー>ロックをした
- 複数のレイヤやクラスなどで構成されたファイルで、編集したい図形の上で右クリックし、コンテキストメニューから強制選択をして図形を選択した

次の設問

後で見直す

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

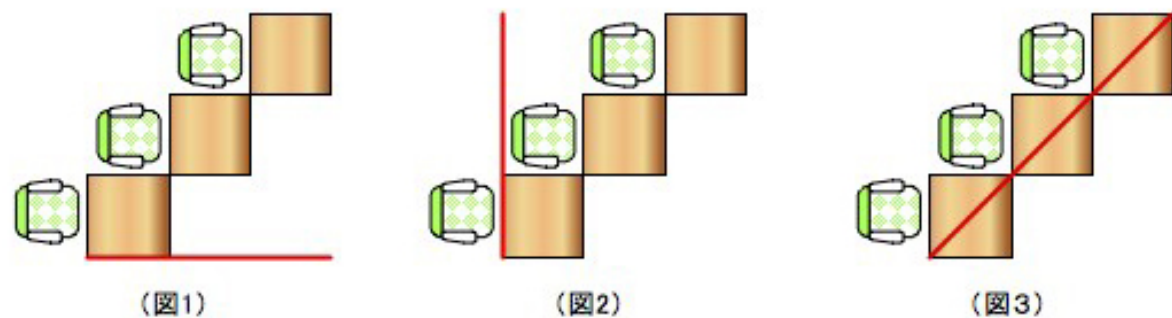
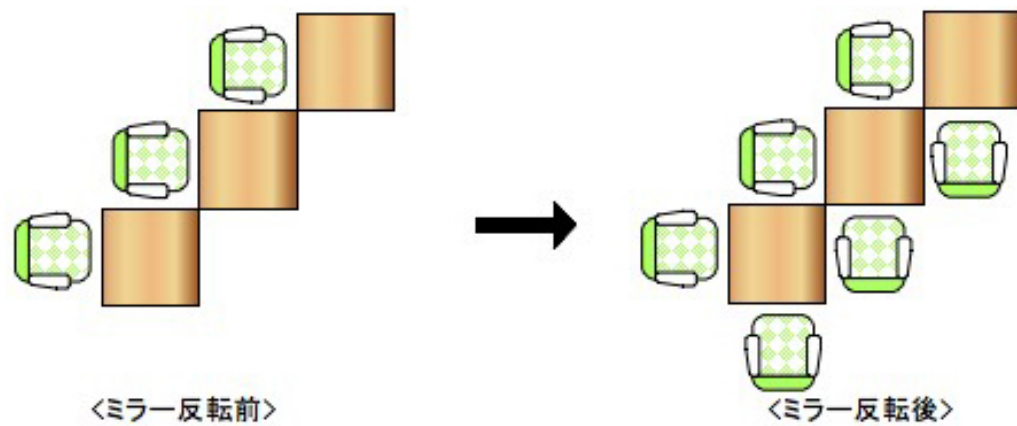
22

23

問17.

【2D加工】

下左図のイス図形を3つ選択し、「ミラー反転」ツールを使って下右図のように配置をする場合、クリックで指示する正しい反転軸(赤い線)を選択してください。



- (図1)
- (図2)
- (図3)

次の設問 後で見直す

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

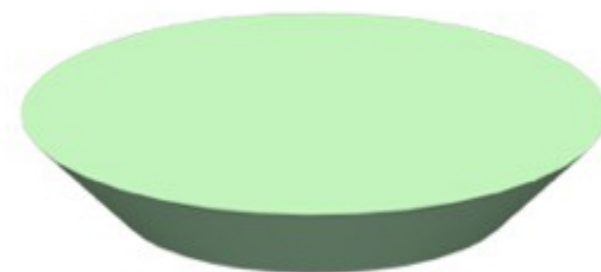
23

問18.

【3D作図】

半径50の正円から錐状体コマンドを使って3Dモデルを作成しました。

作成できないモデルを選択してください。モデル作成後に、編集は行っていないものとします。



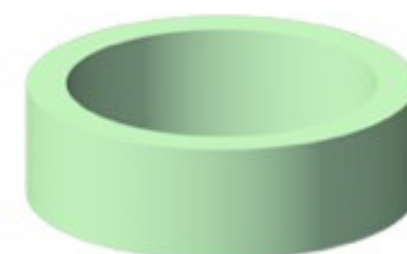
(図1)



(図2)

- (図1)
- (図2)
- (図3)

次の設問 後で見直す



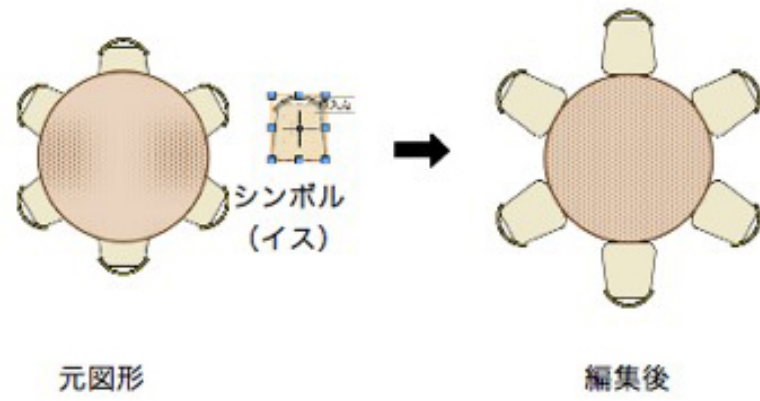
(図3)

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12
- 13
- 14
- 15
- 16
- 17
- 18
- 19
- 20
- 21
- 22
- 23

問19.

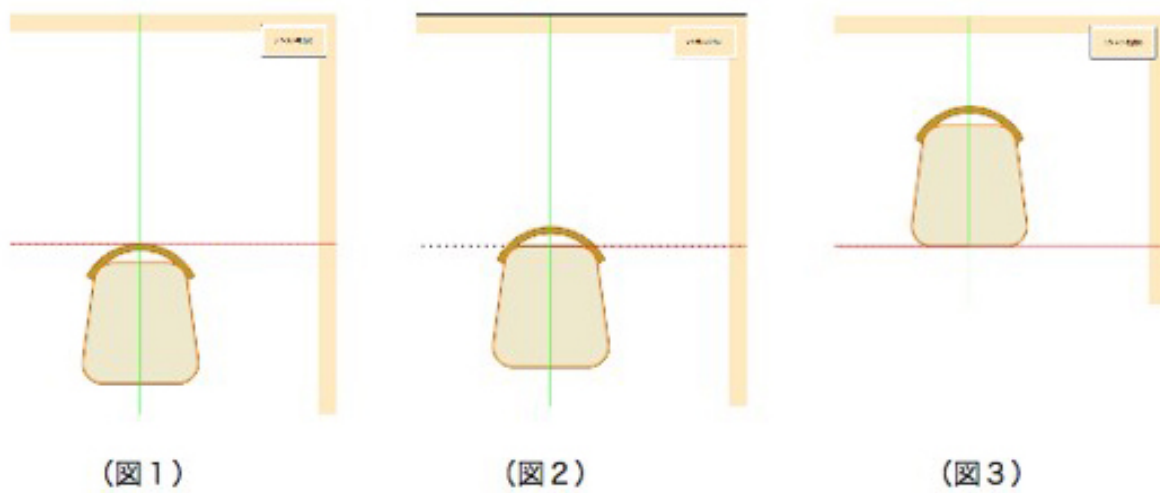
【2D加工】

元図形に配置しているシンボル(イス)の挿入点を編集したところ、変更後の配置になりました。
正しい編集画面を選択してください。



- (図1)
- (図2)
- (図3)

次の設問 後で見直す

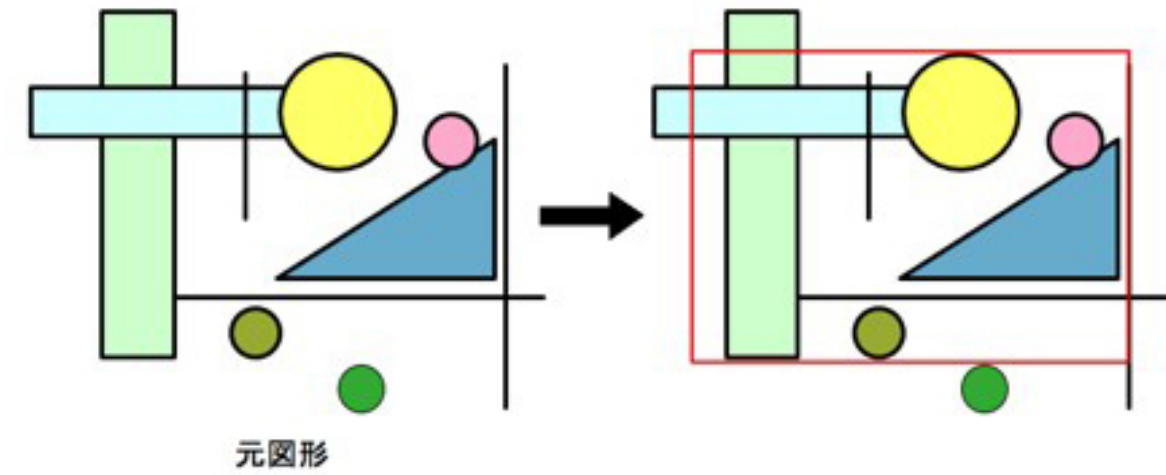


- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12
- 13
- 14
- 15
- 16
- 17
- 18
- 19
- 20
- 21
- 22
- 23

問20.

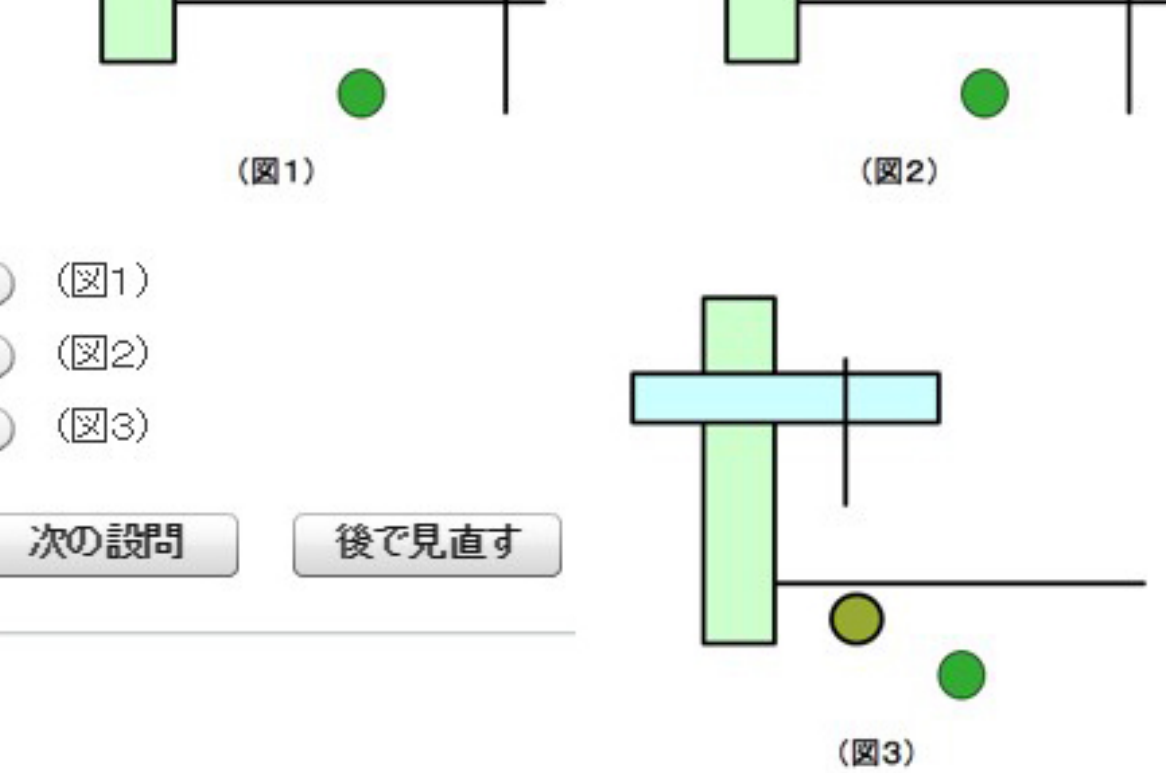
【基本ツール】

赤い四角の範囲をセクションツールで囲み図形を削除しました。
削除後の正しい結果を選択してください。
(図形は同じレイヤとクラスに作成しています)



- (図1)
- (図2)
- (図3)

次の設問 後で見直す



1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

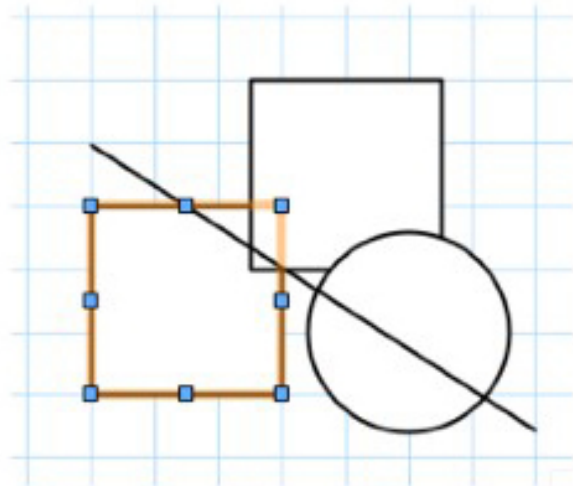
22

23

問21.

【基本ツール】

図形を選択するツールを選択してください。



(図1)



(図2)



(図3)



(図4)

- (図1)
- (図2)
- (図3)
- (図4)

次の設問

後で見直す

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

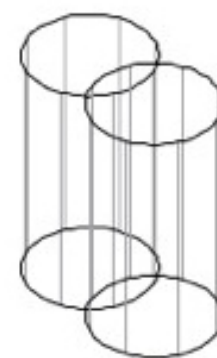
22

23

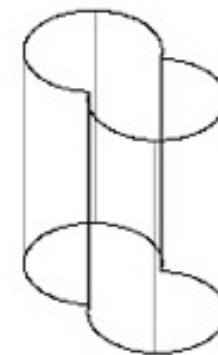
問22.

【3D加工】

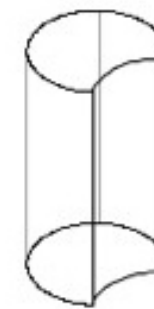
以下の元図で「噛み合わせる」コマンドを実行しました。正しい結果を選択してください。



元図



(図1)



(図2)

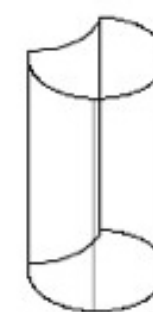


(図3)

- (図1)
- (図2)
- (図3)
- (図4)

次の設問

後で見直す



(図4)

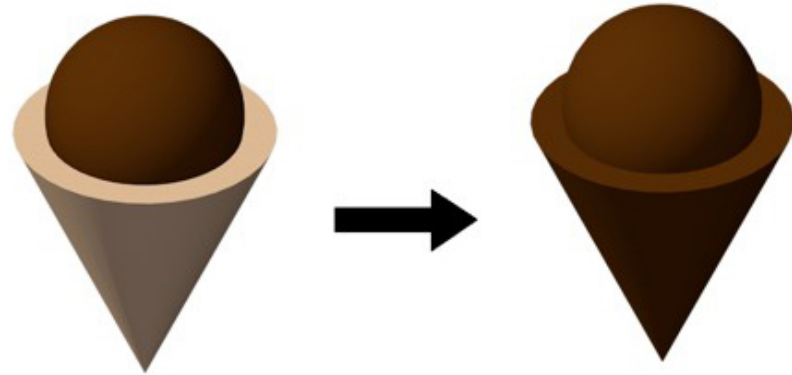
- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12
- 13
- 14
- 15
- 16
- 17
- 18
- 19
- 20
- 21
- 22
- 23

問23.

【3D編集】

以下の説明が正しいければ○を、誤っていれば×を選択してください。

下図の元図形の3Dモデル2つを、編集図形のように一つのモデルにするため、「貼り合わせ」コマンドを実行した。



元図形

編集図形

-
- ×

次の設問

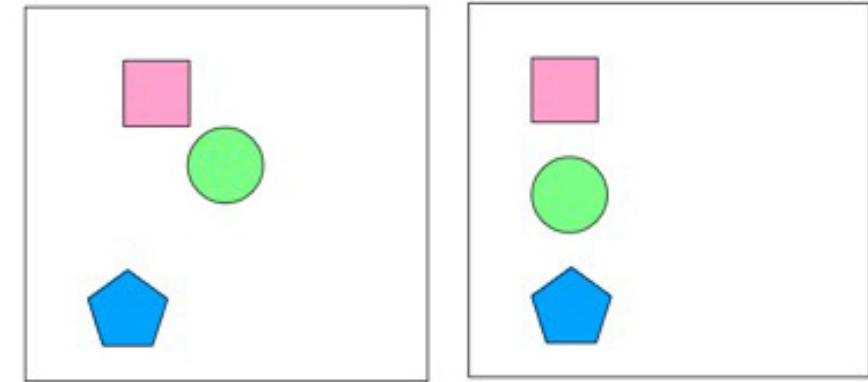
後で見直す

- 24
- 25
- 26
- 27
- 28
- 29
- 30
- 31
- 32
- 33
- 34
- 35
- 36
- 37
- 38
- 39
- 40
- 41
- 42
- 43
- 44
- 45
- 46

問24.

【2D編集】

下図のように図形を整列させた場合の、**整列のダイアログ設定**を選択してください。



<整列前>

<整列後>



(図1)



(図2)



(図3)



(図4)

- (図1)
- (図2)
- (図3)
- (図4)

次の設問

後で見直す

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

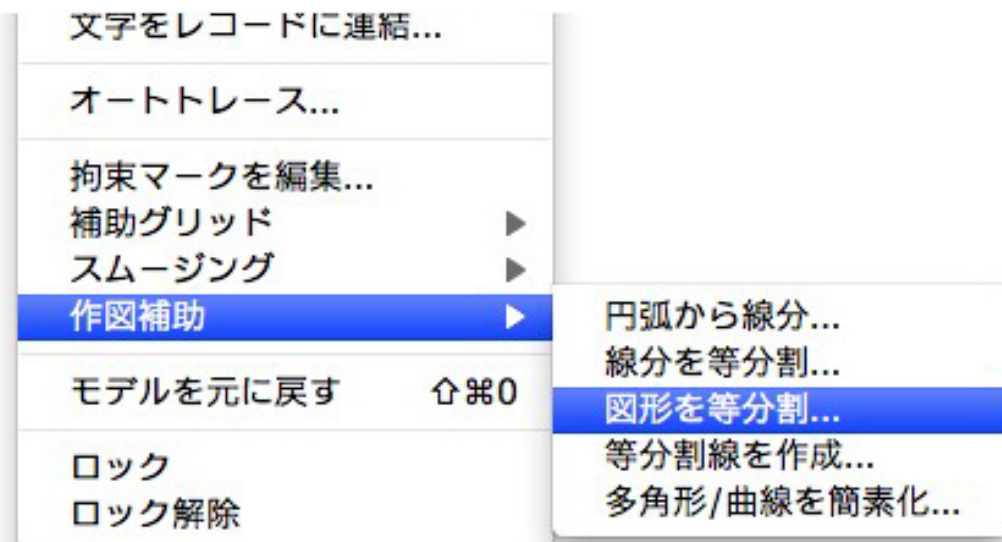
45

46

問25.

【2D加工】

加工メニュー>作図補助>「図形を等分割」コマンドは指定した数の数量に分割します。以下のうち、「図形を等分割」コマンドで**分割できない図形タイプ**を選択してください。



- ダブルライン
 多角形
 円

次の設問

後で見直す

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

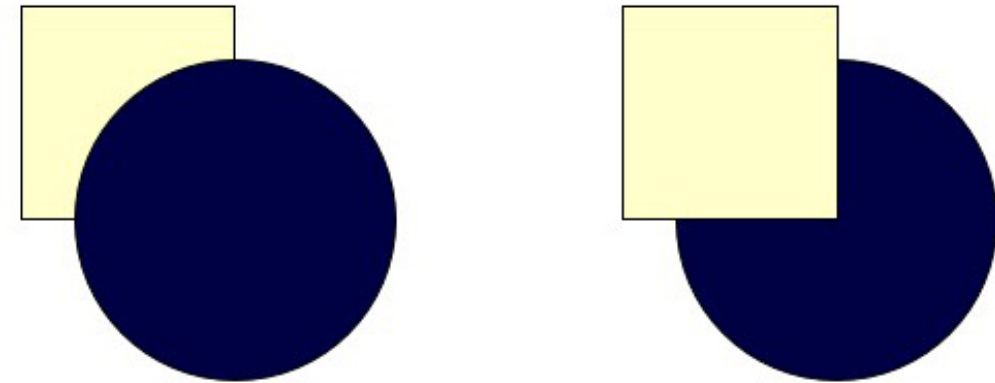
45

46

問26.

【2D編集】

左側の図から右側の図のように図形の上下の関係を変更する操作で、**間違っている手順**を選択してください。



- 各図形が別のクラスで描かれている場合、オーガナイザダイアログでクラスの並び順を変更する
 下の四角形を選択し、図形の前後関係で「最前」を選択する
 各図形が別のレイヤで描かれている場合、オーガナイザのダイアログでレイヤの並び順を変更する
 下の図形を選択し、カットしてペースト(貼付け)をする

次の設問

後で見直す

- 24
- 25
- 26
- 27
- 28
- 29
- 30
- 31
- 32
- 33
- 34
- 35
- 36
- 37
- 38
- 39
- 40
- 41
- 42
- 43
- 44
- 45
- 46

問27.

【2D編集】

セレクション(ポインタ)ツールでダブルクリックすると**変形ツールに切り替わる図形タイプ**を選択してください。



- 円
- シンボル
- 直線
- 多角形

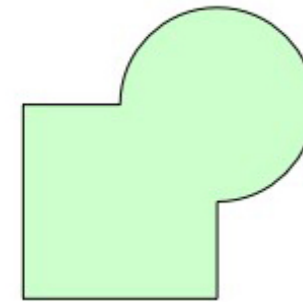
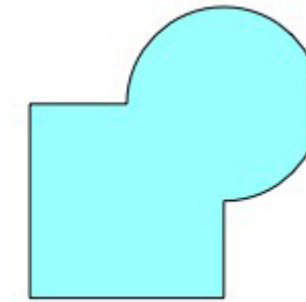
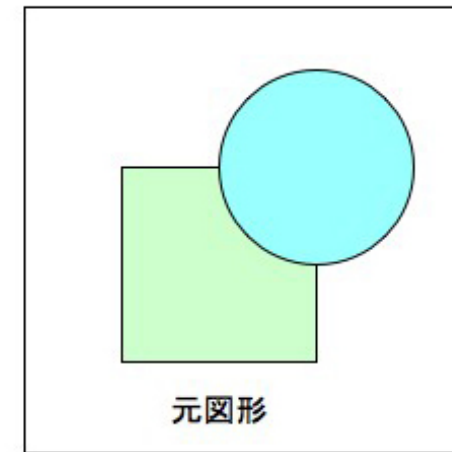
次の設問 後で見直す

- 24
- 25
- 26
- 27
- 28
- 29
- 30
- 31
- 32
- 33
- 34
- 35
- 36
- 37
- 38
- 39
- 40
- 41
- 42
- 43
- 44
- 45
- 46

問28.

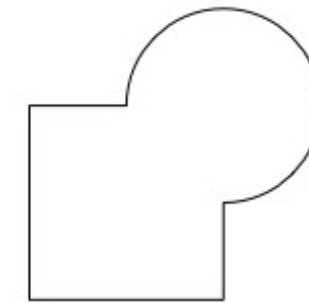
【2D編集】

元図形四角形と円を選択し「貼り合わせ」コマンドを実行しました。**実行後の図形**を選択してください。



- (図1)
- (図2)
- (図3)

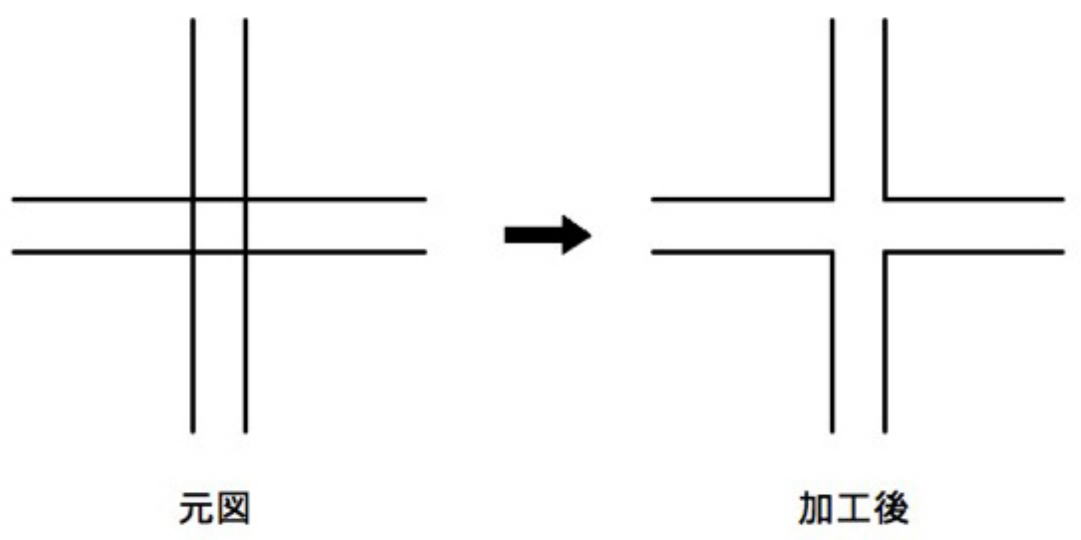
次の設問 後で見直す



図形3

- 24
- 25
- 26
- 27
- 28
- 29
- 30
- 31
- 32
- 33
- 34
- 35
- 36
- 37
- 38
- 39
- 40
- 41
- 42
- 43
- 44
- 45
- 46

問29.
 【2D加工】
 「ダブルライン」ツールで作図した元図を加工メニューのコマンドで加工しました。正しいコマンドを選択してください。

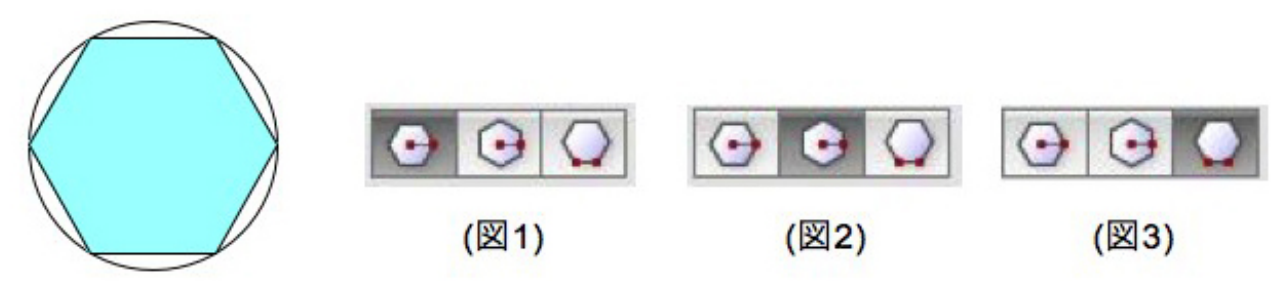


- 線分を結合→直結(直)
- 線分を合成
- 貼り合わせ

次の設問 後で見直す

- 24
- 25
- 26
- 27
- 28
- 29
- 30
- 31
- 32
- 33
- 34
- 35
- 36
- 37
- 38
- 39
- 40
- 41
- 42
- 43
- 44
- 45
- 46

問30.
 【2D作図】
 下図のように円に内接する多角形を作図する場合、最も適しているモードを選択してください。



- (図1)
- (図2)
- (図3)

次の設問 後で見直す

24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46

問31.

【3D加工】

文字を多角形に変換後、3Dモデルにしました。この3Dモデルの加工で**変更できないもの**を選択してください。

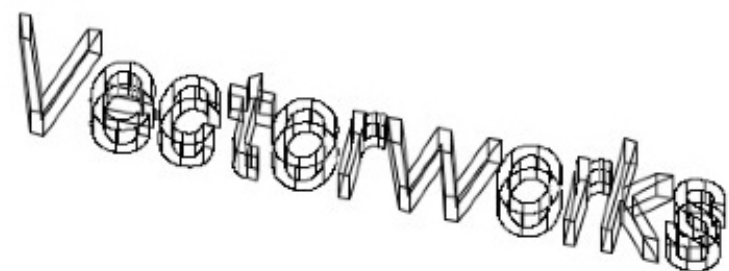
Vectorworks



- 変形ツールで変更ができる
- サイズの変更ができる
- フォントの変更ができる

次の設問

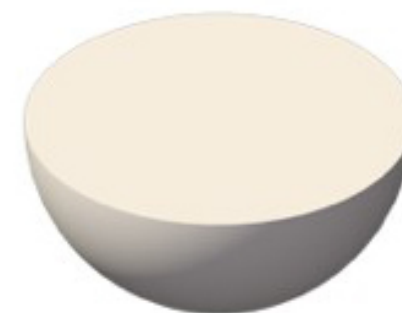
後で見直す

24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46

問32.

【3D加工】

元図形の半球に右図のように加工しました。**使用したツール**を選択してください。



元図形

- 3D面取り
- シェルフリッド
- 多段曲面
- 3Dフィレット

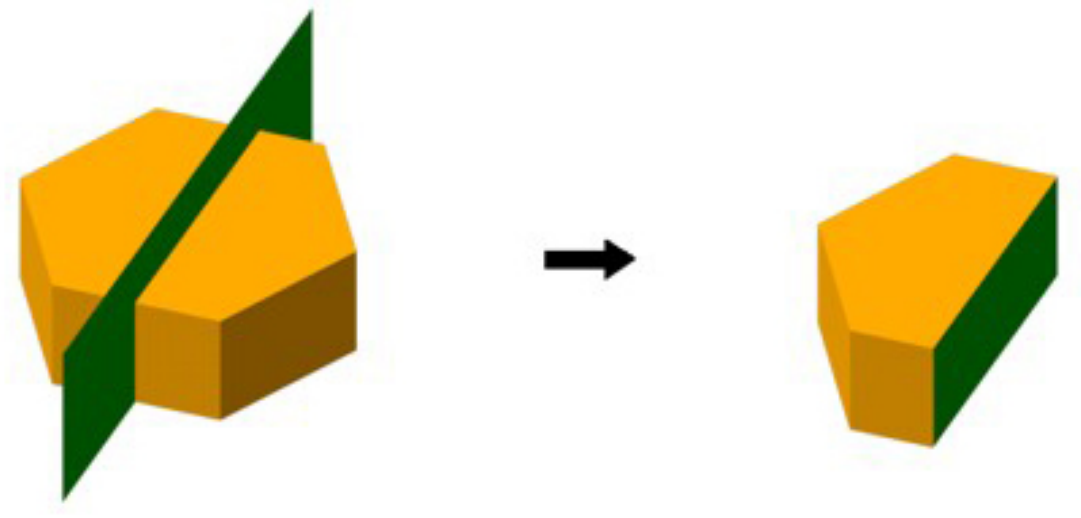
次の設問

後で見直す

問33.

【3D加工】

元図形を編集図形のように加工するコマンドを選択してください。



元図形

編集図形

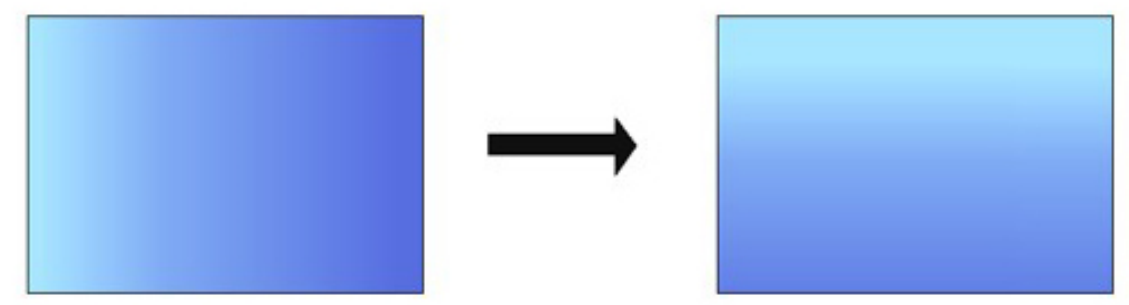
- 重なった部分を残す
- 削り取る
- 曲面で切断

次の設問 後で見直す

問34.

【2D編集】

下図のようにグラデーションの方向のみを変更する場合、使用するツールを選択してください。

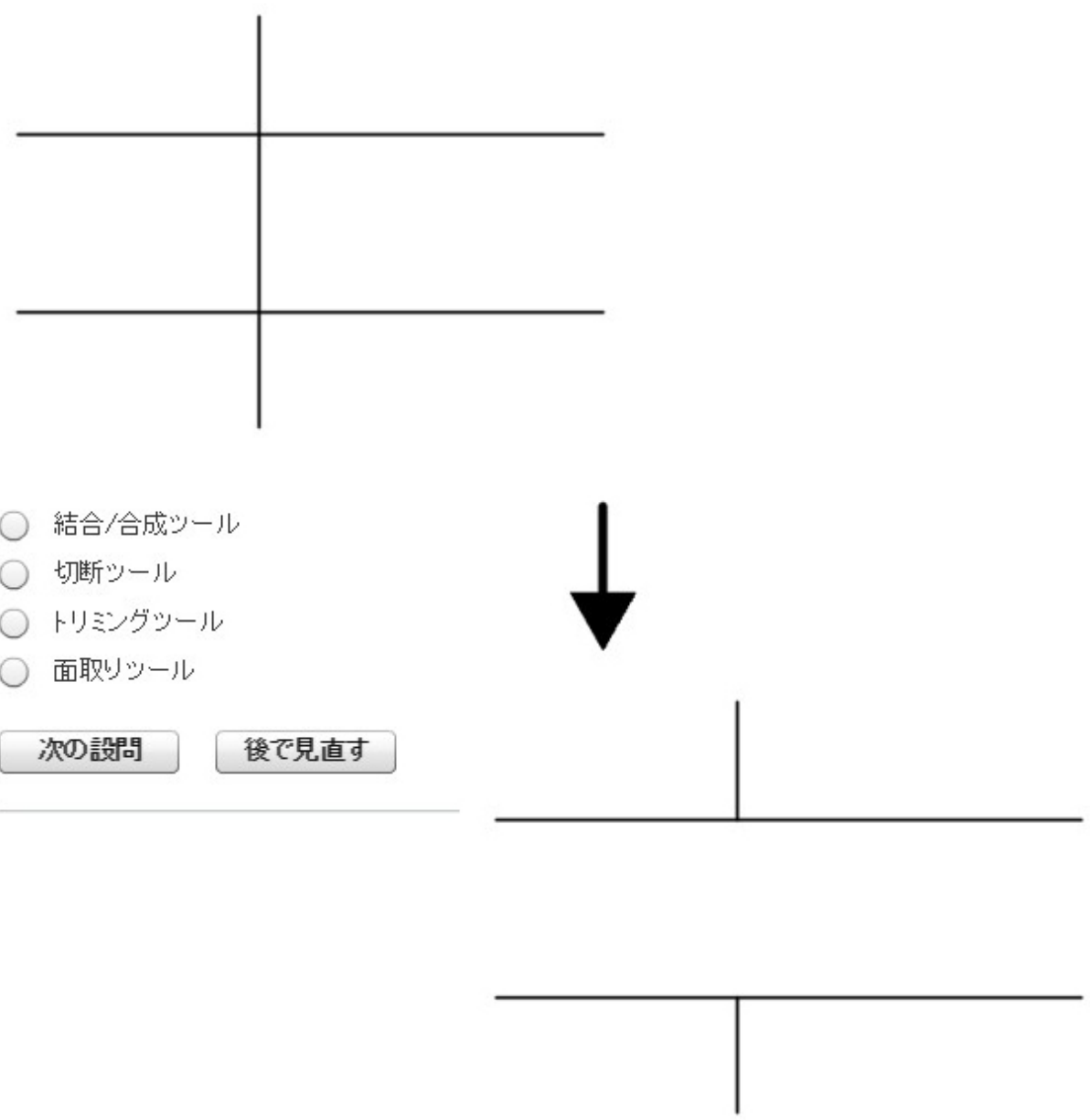


- 変形
- 属性マッピング
- 回転
- アイドロップ

次の設問 後で見直す

- 24
- 25
- 26
- 27
- 28
- 29
- 30
- 31
- 32
- 33
- 34
- 35
- 36
- 37
- 38
- 39
- 40
- 41
- 42
- 43
- 44
- 45
- 46

問35.
 【2D編集】
 選択されていない直線を1回だけクリックして、左図から右図のようにしました。**実行したツール**を選択してください。

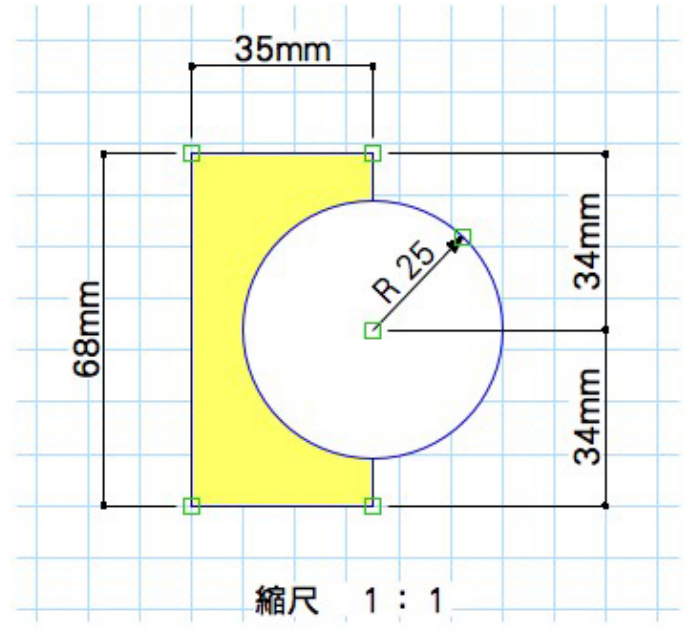


- 結合/合成ツール
- 切断ツール
- トリミングツール
- 面取りツール

次の設問 後で見直す

- 24
- 25
- 26
- 27
- 28
- 29
- 30
- 31
- 32
- 33
- 34
- 35
- 36
- 37
- 38
- 39
- 40
- 41
- 42
- 43
- 44
- 45
- 46

問36.
 【2D作図】
 操作を行って解答してください。
 以下寸法の四角形と円を「切り欠き」した図形(黄色部分)の周長(一番近い数値)を選択してください。(寸法単位:mm)



- 237.55mm
- 235.45mm
- 234.54mm
- 228.83mm

次の設問 後で見直す

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

問37.

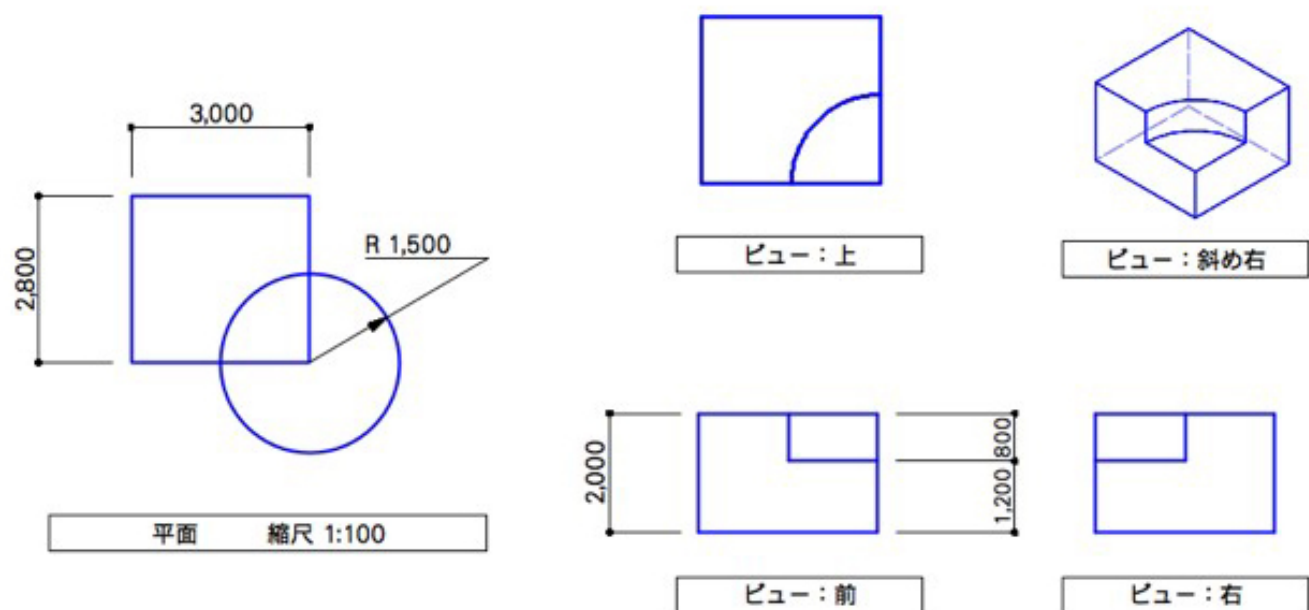
【3D作図】

操作を行って解答してください。

縮尺を1:100とし、以下寸法の3Dモデルを作成します。

作成後「モデル」メニュー>「体積情報...」を選択し**モデルの体積(一番近い数値)**を選択してください。(作図寸法:mm)

※Vectorworks2014以下の場合にはデータパレットの表示が「cu m」ですが、解答は正しい数値優先でお答えください。



- 16.89 m³(単位:立方メートル)
 15.99 m³(単位:立方メートル)
 15.39 m³(単位:立方メートル)
 15.16 m³(単位:立方メートル)

次の設問

後で見直す

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

問38.

【ワークシート】

以下の説明が正しいければ○を、誤っていれば×を選択してください。

ワークシートは、データパレットから新規作成はできない。

 ○ ×

次の設問

後で見直す

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

問39.

【ワークシート】

以下の説明が正しいければ○を、誤っていれば×を選択してください。

ワークシートは、取り込み、取り出しすることができるが印刷することはできない。

○

×

次の設問

後で見直す

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

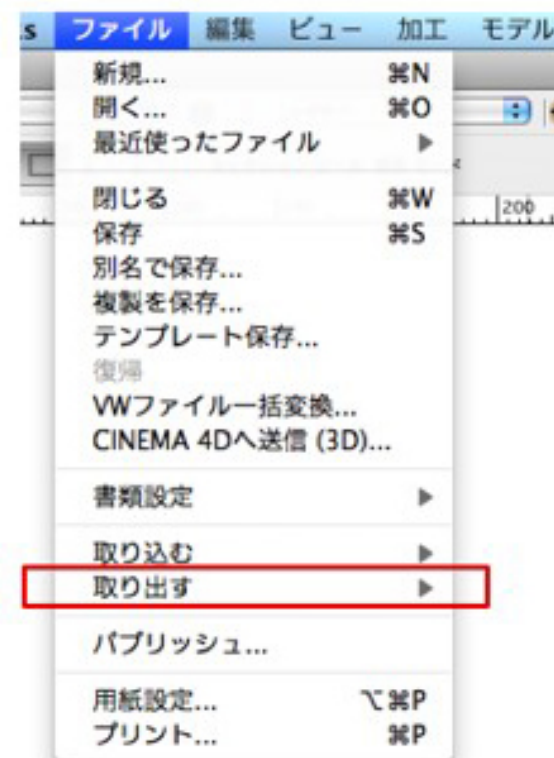
46

問40.

【データ互換】

以下の説明が正しいければ○を、誤っていれば×を選択してください。

Vectorworks2016で作成したデータを、Vectorworks2015のバージョンで開くには、「ファイル」メニュー>「取り出す」>「Vectorworks2015」で保存する必要がある。



○

×

次の設問

後で見直す

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

問41.

【ワークシート】

ワークシートを作成後、図面に変更を加えました。

これに伴ってワークシートの情報を更新する際に適切な操作を選択してください。

- ファイルを「上書き保存」する
- ワークシート上で右クリックし「再計算」する
- 「Vectorworks」メニューから「アップデータを確認」する
- ワークシート上で右クリックし「前後関係」>「最前」にする

次の設問

後で見直す

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

問42.

【データ互換】

Vectorworksで作成したデータから他のソフトウェアにデータを取り出す場合に、**誤っている説明**を選択してください。



- Vectorworksのアクティブなファイルをテキストデータにするため、「ワークシート」形式で取り出す
- Renderworksでレンダリングしたデータを他のソフトの挿絵にするため「JPEG」形式で取り出す
- Vectorworksで作成した2Dの図面データを他のCADソフトで開く場合は、「DXF/DWG」形式で取り出す

次の設問

後で見直す

24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46

問43.

【Renderworks_テクスチャ】

以下の説明が正しいければ○を、誤っていれば×を選択してください。

テクスチャは外部から取り込んだ画像データを使用できるが、背景テクスチャとしては使用する事ができない。

 ○ ×

次の設問

後で見直す

24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46

問44.

【Renderworks_ツール】

以下の説明が正しいければ○を、誤っていれば×を選択してください。

レンダービットマップツールでのレンダリングの解像度の設定はできない。

 ○ ×

次の設問

後で見直す

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

問45.

【Renderworks_テクスチャ】

テクスチャを適用できる正しい図形属性を選択してください。

- 柱状体
- 円
- 四角形
- 多角形

次の設問

後で見直す

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

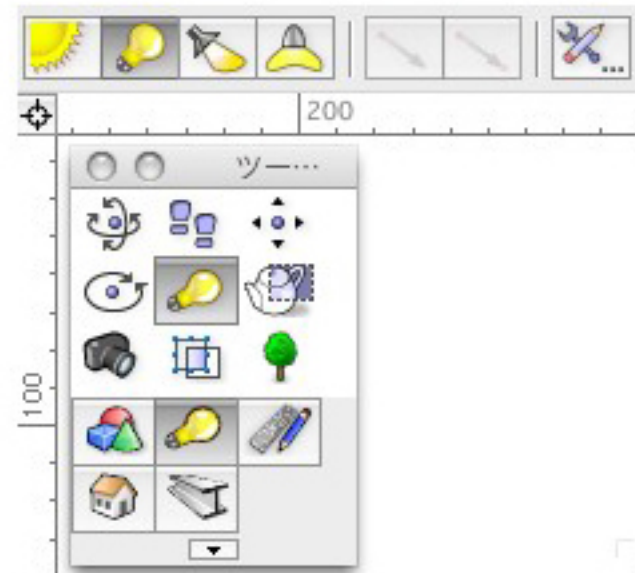
45

46

問46.

【Renderworks_光源】

Renderworksの「点光源」についての説明です。正しい説明文を選択してください。



- 既存の図形または線から光源を作成することができます
- 特定のオブジェクトに向けて特定の方向で光を照射します
- 裸電球のように全方向へ光を照射します
- 太陽光のように、平行な光線で光を照射します

次の設問

後で見直す

28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50

問47.

【Renderworks_光源】

Renderworksの「線光源」についての説明です。**正しい説明文**を選択してください。

- 直線から光を照射します
- 裸電球のように全方向へ光を照射します
- 定義された複雑な空間分布に基づいて光を照射します
- 面図形から光を照射します

次の設問

後で見直す

28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50

問48.

【Renderworks_テクスチャ】

テクスチャについての説明です。**誤りがある説明文**を選択してください。

- テクスチャに凹凸感を加えたい場合は、「バンプ属性」を編集する
- 「デカルテクスチャ」で重ねることができるテクスチャの数は、最高2つである
- 図形に割り当てたテクスチャは、「OpenGL」のレンダリングでも表現できる

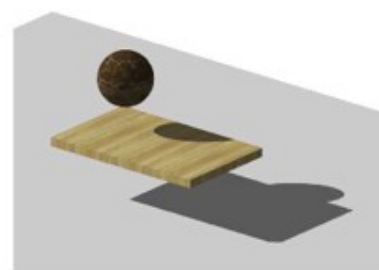
次の設問

後で見直す

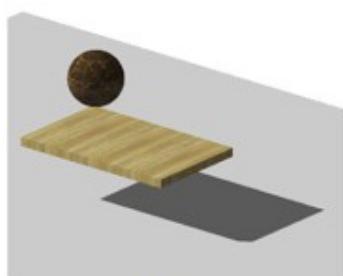
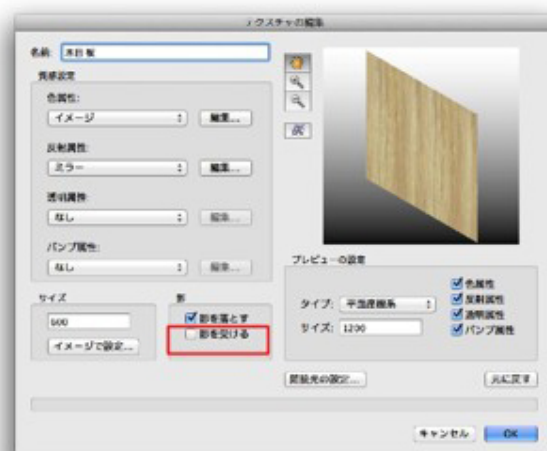
- 28
- 29
- 30
- 31
- 32
- 33
- 34
- 35
- 36
- 37
- 38
- 39
- 40
- 41
- 42
- 43
- 44
- 45
- 46
- 47
- 48
- 49
- 50

問49.

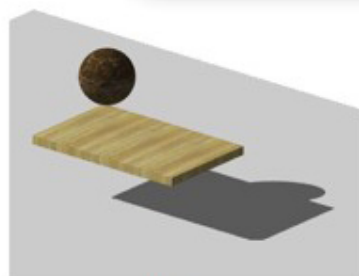
【Renderworks_テクスチャ】
元図から「木目 板」テクスチャの編集で「影を受ける」のチェックを外しました。正しいレンダリング結果を選択してください。



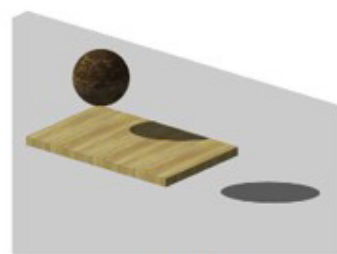
元図



(図1)



(図2)



(図3)

- (図1)
- (図2)
- (図3)

次の設問 後で見直す

- 28
- 29
- 30
- 31
- 32
- 33
- 34
- 35
- 36
- 37
- 38
- 39
- 40
- 41
- 42
- 43
- 44
- 45
- 46
- 47
- 48
- 49
- 50

問50.

【Renderworks_機能】
Renderworksの機能についての説明です。正しい説明を選択してください。

- レンダービットマップツールは任意にレンダリングの範囲を指定できるが、レンダリングモードはOpenGLのみで他に指定はできない
- 光源の種類は、配置した後でもデータパレットで変更することができる

次の設問 後で見直す